

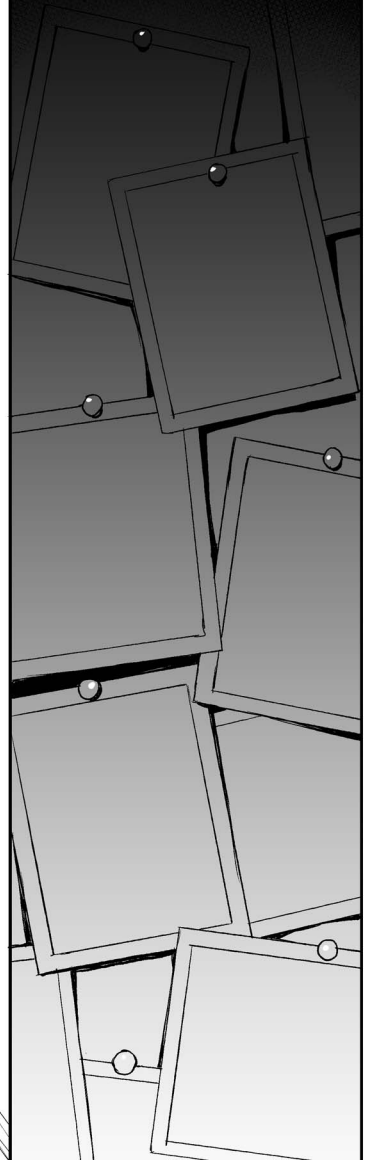
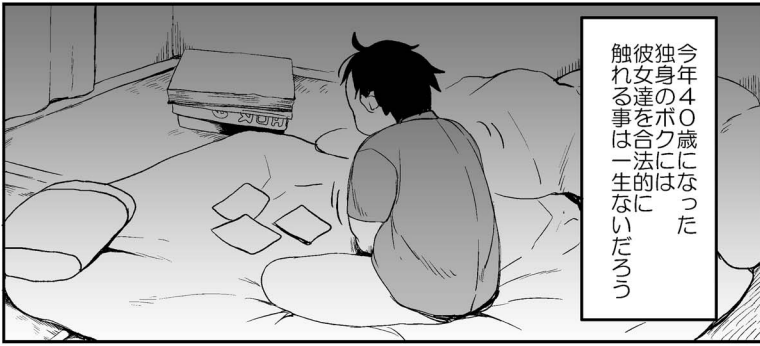


ボクの理想の異世界生活

My ideal different world life



ボクの趣味は
可愛い少女達を愛てる事





腰を振る自分を想像する...

撮影会から帰ると
撮ったばかりの
彼女達の写真を見ながら
10回はオナニーをする

今日は特別にお気に入りの
あおいタンの香りを思い出し

12回目の
射精に達した時

ウッ♡

ブツンと
頭のスイッチが
切れた気がした。



ノルンっ

ノルン

意識が戻った時
可愛い女の子がいた



良かったよお…!

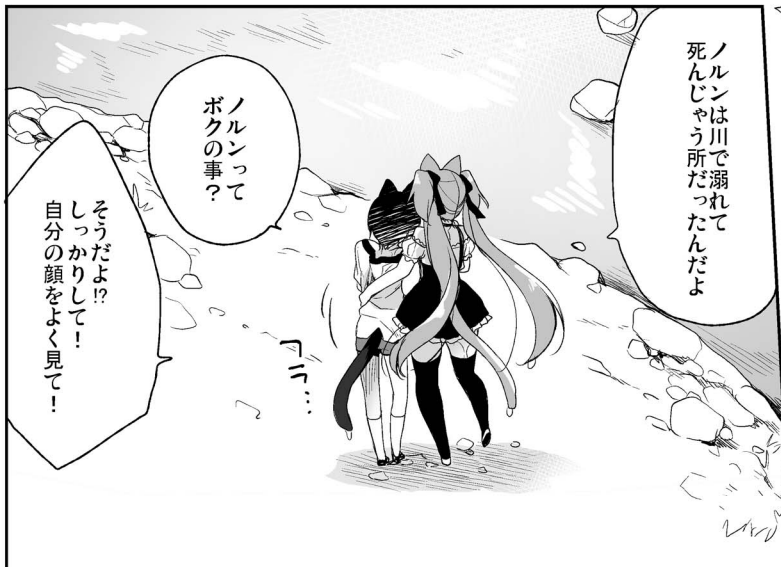
気がついた!
良かった…!!

ノルン!



ノルン
私の事が分からないの?
ミーシアだよ?

…君は?
ミーシア



ノルンって
ボクの事?

そっだよ!?
しっかりして!
自分の顔をよく見て!

ノルンは川で溺れて
死んじゃう所だったんだよ



綺麗な川に
映っていたのは

ケモミミが生えた
可愛い少年だった



どうやらホクは
異世界転生して
しまったらしい

家までの帰り道
話を聞いたところ
元の世界との大きな違いが
いくつもあった



一、この世界の住人は
中世のヨーロッパに近い
レベルの暮らしをしていて
皆何らかのケモノの耳と
しっぽを持っている

二、雄の雌の数が多く
一夫多妻制が当たり前で
雌がほとんどの労働を担っている

三、雌は元の世界の
十代半ばの姿のまま
ほとんど成長しなくなる



なんてボクに理想的な世界なんだ…!!

どうしたのノルン早くお風呂に入らないと

そして—風習として初婚は親同士が決めるもので

ミーシアはボクの一人目の妻になる予定の女の子

十日程前から結婚前の同棲期間として一緒に暮らし始めたらしい



ええっ!? 何で脱いでるの!?

何でって…早くお風呂入らないと風邪ひいちゃうよ!



こんな美少女と二人で暮らしてるなんて羨ましいぞノルン君!

…いや今はボクが

すっ、



ほらノルンも早く脱いで

ひええっ

グイ

ナポ—!

ノルン
気持ちいい？

ううん
とっても
気持ちいいよ

うふふ
ノルンったら川で溺れてから
人が変わったみたいにな
素直になっただけ

昨日までは
私が洗ってあげようとしたら
すごく嫌がってたのに



そそうだったっけ…
すごく気持ちいいのに
今まで勿体ないことしたな

可愛い女の子と
裸同士で
一緒にお風呂…

しかも身体を
洗ってくれるなんて
最高すぎる…

おっぱいが
時々当たるし…

あれ？

ノルンのおちんちん…
おっきくなってる？

ん？あ…

…これはその…

隠さないで
もっと見せて！

わっ

ばっ



今日がノルンの
発情日なのかな…

男の人って
年に一回の発情日に
勃起するんだよね…？



ねえねえっ
どうしたら
いいのかな？

発情日って何だ…
この世界の雄は年に一回しか
勃起しないって事か…!?
んだけ草食
やっせよ…

まだ先だと思ってたから
お母様に詳しく
聞いてないの



これは…
まさかのいきなり
えっちフラグ!?

良いよな…
一応夫婦になる
わけだし…

ええと…じゃあ
優しく
舐めてくれる？



ううん…
こうかな

ううん
すごく気持ちよかった…
ミーシアもっとして…

ごめん
痛かった？

はあっ
ん



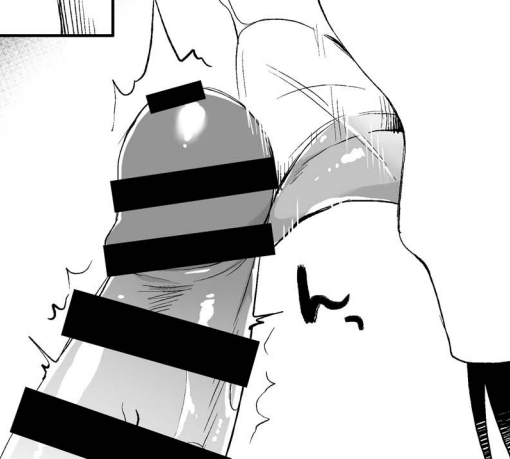
すこい…
初めて見た…!

ボクの勃起ちゃんこそ
美少女がこんな近くで
凝視してる…



はっっ

こころっ





あっあっ…

きびきび…

ふあっ

なんだコレは
なんだコレは
気持ちよすぎて
声が出るっ…!

ああっ

おちんちんの先から
何かぬるぬるしたの
出て来たよ?

気持ちいいと
出てくるんだ…

あひいっ…

そっぞっ



これ…
気持ちいいんだ

おと…

ああっ
そっ…!

…

あの…ミ…ン…
口でおしゃぶり
するように
してもらえる?

はあ

…お…?



そっぞっ…!!
そのまま
上下に動いて…!!

ああっ

んっ

あっ

たろっ
たろっ
たろっ
たろっ

うあっ